

KagoGIGA

インフォメーション

令和7年8月号 ⑦

鹿児島県教育庁総務福利課 教育DX推進室

今回の話題

令和7年度 第1回

かごしま「教育の情報化」推進連絡協議会

7月3日(木)に本年度、第1回かごしま「教育の情報化」推進連絡協議会を開催しました。本協議会は、学識経験者、IT関連企業関係団体、学校現場の担当者が一同に会し、本県における「教育の情報化」に関する情報を共有するとともに、県全体の「未来を創る鹿児島『教育の情報化』推進プラン」を基に「教育の情報化」に向けた課題を集約し、今後の推進に向けた施策・取組等を協議するために、毎年、開催しております。

本年度は、推進プランの最終年度となっており、新たなプランの策定に向け、作業を進めているところです。協議会においても、これまでの本県における「教育の情報化」に関する取組を委員の皆様にご総括していただき、次期プランの策定につなげていくための協議をしていただきました。

===委員の皆様からいただいたご意見(抜粋)===

- ▼県内の教職員の自己評価は、数値のみによる画一的な評価だけでなく、相対評価を組み合わせ、評価をしたほうがよいのではないか。
- ▼児童生徒が端末を利用する際、自分の健康面に配慮して利用しているかどうかの指標を検討する必要がある。
- ▼次期プランの策定において、教育庁全体で取り組まれていることは大変評価できる。
- ▼学校内の組織として、ICT担当職員にばかり負担が偏る現状があるため、教育DXを推進するための組織づくりについても、記載する必要がある。
- ▼次期プランには生成AIの利活用に関する記載を増やす必要がある。校務や学習において、さらに利用の拡大が予想される。



▲かごしま「教育の情報化」推進連絡協議会のようす (R7.7.3)



◀県のHPに当日の配布資料等をアップしております。

今回の話題

—ICT機器を使用する頻度と各教科の正答率・スコアとの間に一定の関係が見られる—

全国学力・学習状況調査結果概要より

文部科学省は7月、全国の小学6年生と中学3年生を対象に実施した「**全国学力・学習状況調査**」の結果を公開しました。

本年度の調査では、中学3年生の理科において、生徒がPCを使って回答するCBT*による調査が初めて行われたことも報道等で取り上げられました。

公開された概要によると、全国の小中学校では、タブレットなどのICT機器を「週3回以上」、「ほぼ毎日」活用している学校が9割を超えており、さらに、ICT機器を使用する頻度が高いほど、正答率やスコアが高いという結果でした。GIGAスクール構想により整備されたICT端末が効果的に活用され、学力向上につながりつつあります。

*「Computer Based Testing」の略で、コンピュータを使い、試験や評価を行うシステムのこと。

国立教育政策研究所のHP▶



児童生徒質問「PC・タブレットなどのICT機器を使用した頻度」の選択肢ごとの教科の正答率・スコア

【児童生徒】タブレットなどのICT機器を使用した頻度

■ ほぼ毎日 (1日に複数の授業で活用) ■ ほぼ毎日 (1日に1回くらいの授業)
□ 週3回以上 □ 週1回以上 □ 月1回以上 □ 月1回未満

選択肢ごとの教科の平均正答率・平均IRTスコア

